専門教育科目 講義科目

^{科目名:} 税理士のための財務諸表論Ⅲ							科目コード	EJ28
				単位	2			
科目主査:	齊藤耳		担当講師:	的場 龍太郎、	依田 朗裕		配当年次	3 • 4
授業の目的と概要 グループワーク: □ あり ☑ なし 個人ワーク						: I あり	□ なし	
本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることです。また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、EJ26~EJ30(税理士のための財務諸表論 I ~V)を学習することで、全範囲の基礎学習が完結します。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修する、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。 *EJ27(税理士のための財務諸表論 II)からの継続授業となります。税理士になるために、大学院への進学も勧めています。								
履修の前提となる科目		□ あり ☑ なし 科目名:						
履修の前提とな その他特記!		事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。						
テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書&問題集(3)』TAC税理士講座(編),TAC出版,最新版							
この科目の 到達目標	①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。 ②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。 *E J 26~E J 30 (税理士のための財務諸表論 I ~V) 全体としての到達目標となる。							
成績評価 の 方 法	授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出(白紙提出不可)をもって、採点対象とする。							
事後学習	授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。							
事後学習の 参考文献	『新版 会計法規集〔第11版〕』中央経済社,2019年 『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 最新版』TAC税理士講座(編),TAC出版 『税理士 財務諸表論 計算問題の解き方 最新版』TAC税理士講座(編),TAC出版							
スクーリング受講時に用意するもの ☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓(大きめが望ましい) ☑カメラ・マイクは必須となります。								